

平成19年度第8回 公立大学法人熊本県立大学教育研究会議
議 事 録

日 時：平成19年11月12日(月)午後2時30分～午後3時50分

場 所：公立大学法人熊本県立大学 大会議室

出 席：学長 米澤和彦
事務局長 角田岩男
文学部長 三木悦三
環境共生学部長 大和田紘一
総合管理学部長 松野了二
学術情報メディアセンター長 松岡 泰
委員 河原畑廣
委員 源島真一郎
委員 坂本元子
欠 席：副学長 古賀 実

オブザーバー：半藤文学研究科長、永尾アドミニストレーション研究科長

事務局：豊田事務局次長、手島総務課長、稲葉企画調整室長、井上教務入試課長、鉄戸学生支援課長、
田中学術情報メディアセンター事務長、林田教務班長、枝國主幹、元島主幹、林参事、武下参事

1 開会（進行：豊田事務局次長）

2 学長挨拶

3 議事（議長：米澤学長）

(1) 審議事項

大学院における人材養成等に関する目的の明確化について

事務局から、資料1に基づき、大学院における人材養成等に関する目的の明確化について、「大学院設置基準の改正により、大学院学則等に大学院における人材養成等に関する目的を明記することが求められている。現在、各研究科において検討中であるが、案について御意見をいただきたい。今後、学内の大学院専門委員会で再度検討を行ったうえで、学則に『学長が別に定める』旨を規定し、別途『熊本県立大学大学院人材養成に関する規程（仮称）』を新たに制定する予定である。」との説明があった。

委員からは特段の意見はなく、事務局から、御意見があれば、後日でも御連絡いただきたいとの依頼があった。

平成20年度カリキュラム改正（案）について

事務局から、資料2に基づき、平成20年度カリキュラム改正（案）について、「5月に教育研究会議、理事会で了承いただいたカリキュラム改正について、卒業要件、履修要件を審議いただくものである。なお、キャリアデザイン教育とプレゼминаールについては、まだ若干調整を行う予定である。また、環境共生学部の教職課程の再認定申請において、文部科学省からの指導を受けており、科目一覧に変更が生じるため、変更点について報告を行うものである。」との説明があった。

審議の結果、平成20年度カリキュラム改正（案）について、案のとおり議決した。

(2) 報告事項

平成20年度特別選抜における出願状況について

事務局から、資料3に基づき、平成20年度特別選抜における出願状況について、「推薦入学、社会人特別選抜、帰国子女特別選抜の3つの選抜区分があり、推薦入学は全学で募集人員73名に対し、志願者数137名、社会人特別選抜は募集人員各学科若干名に対し、志願者数6名、帰国子女特別選抜は募集人員各学科若干名に対し、志願者数1名であった。いずれの選抜区分も選抜期日は12月2日である。12月10日の教育研究会議で合格者決定について御審議いただき、同日合格発表予定である。」との報告があった。

非常勤講師の採用について

事務局から、資料4に基づき、非常勤講師の採用について、「環境共生学部食・健康環境学専攻の教員が病気により入院したため、同教授担当科目の2科目について非常勤講師3名を11月5日に採用した。なお、それ以外の同教授担当科目については、食・健康環境学専攻の教員が対応することとしている。」との報告があった。

地域環境フォーラムの実施結果について

事務局から、資料5に基づき、地域環境フォーラムの実施結果について、「10月21日に、『地域環境の創生』というテーマで、建築家で本学客員教授の葉祥栄氏の基調講演とパネルディスカッションを内容とするフォーラムを開催した。参加者は約150名であった。」との報告があった。また、11月30日に本学客員教授の蒲島郁夫氏による特別講義が行われる予定であるとの報告があった。

創立60周年記念シンポジウム「秋・進歩・・・大学と活力」の実施結果について

事務局から、創立60周年記念シンポジウム「秋・進歩・・・大学と活力」の実施結果について、「11月10日に、『大学と活力 - 世界の動向、自分の行動』をテーマにシンポジウムを開催した。内容は野村ホールディングス(株)の池上浩一さんの基調講演とパネルディスカッションで、参加者は約240名であった。」との報告があった。

4 その他

学長から、自由な意見発言、質問を承りたいとの発言があり、カリキュラム編成に関して、委員から発言があった。

5 閉会